

# 大玉で食味がよいビワ新品種 「陽玉」「なつたより」

【背景・目的・成果】 淡路地域で主に栽培されているビワの品種は「田中」で、大果になり外観は美しいが、食味がやや劣るという問題があります。近年品種登録された「陽玉」「なつたより」は、「田中」に比べ果実の大きさは同等程度かそれ以上で、果実品質については食味が優れていることが確認できました。



「陽玉」

### 【特徴】

- ・果肉は軟らかく、酸味が少なく、食味はよい。
- ・「田中」に比べ果実が大きく、果肉の厚さも厚い。
- ・収穫時期は「田中」よりやや早い中生系統。
- ・収量は「田中」に比べやや多い。

### 【注意点】

- ・果皮障害はそばかすが発生しやすい。



「なつたより」

### 【特徴】

- ・果肉は軟らかく、糖度が高く、酸味が少なく、食味はとてもよい。
- ・果実の大きさは「田中」と同程度。
- ・収穫時期は「田中」より12日程度早い早生系統。

### 【注意点】

- ・収量は「田中」に比べかなり少ない(56%)。
- ・果皮障害の発生は「田中」と同程度。

品種別の果実特性（淡路農技、2010年）

品 種	収穫期 (月・日)	収量 (kg)/樹	果実重 (g)	果 肉		果 汁		果皮障害		
				厚さ (mm)	硬度 (g)	糖度 (%)	酸含量 (g/100ml)	そば かす	裂果	紫斑 症
陽 玉	6.14	8.2	72.4	10.8	284	10.7	0.25	0.8	0.1	0.3
なつたより	6.7	4.3	61.7	9.8	230	12.9	0.19	0.4	0.1	0.1
田 中	6.19	7.7	64.2	9.6	382	10.3	0.34	0.3	0.2	0.2

注) 果肉硬度はユニバーサル硬度計（径5mmの円筒形針頭使用）による  
果皮障害は無：0、軽：1、甚：3として評価した

### 【技術の活用】

- 1 「陽玉」はそばかすが発生しやすいため、極大果の摘果、遮光率の高い袋の使用、適期収穫に努める必要があります。
- 2 「なつたより」は樹勢が強く着花性がやや劣るので、収量確保には枝の誘引等による結果枝の確保が必要になります。
- 3 直売を対象にした良食味品種として、改植や高接ぎ更新により導入を進めます。